

評価対象年度	平成25年度	施策評価シート(震災復興用)	政策	2	施策	1
施策名	1 安心できる地域医療の確保		施策担当 部局	保健福祉部		
「宮城県震災復興計画」における体系	政策名	2 保健・医療・福祉提供体制の回復 【保健・医療・福祉】		評価担当 部局 (作成担当 課室)	保健福祉部 (医療整備課)	

<b>施策の方向</b> (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<b>①被災者の健康支援</b> ◇ 避難所, 応急仮設住宅, 在宅の被災住民の健康の保持増進や病気の早期発見等のため, 看護職員による健康相談, 歯科医師等による歯科保健相談, 栄養士による食生活支援, リハビリテーション専門職による運動指導等の支援を行う。
	<b>②ハード・ソフト両面の医療提供体制の整備</b> ◇ 仮設診療所や仮設薬局を整備し, 診療機能を確保する。また, 地域の医療機能の回復を図るため, 沿岸被災市町のまちづくりの方向性と整合させながら, 病院, 診療所, 薬局, 訪問看護ステーションの整備等を推進する。 ◇ 医療従事者の流出防止, 養成・確保に努める。
	<b>③保健・医療・福祉連携の推進</b> ◇ ライフサイクルに応じた切れ目のない医療提供体制を推進するため, ICT(情報通信技術)を活用した地域医療連携システムを構築し, 病院, 診療所, 福祉施設, 在宅サービス事業者等の連携強化や情報共有等に努める。 ◇ 周産期医療については, 県内で運用しているセミオープンシステムを充実するとともに, 被災地を含む県全域での情報共有が可能なICT基盤を確立し, 災害時でも安心な周産期医療体制の確保を目指す。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	5,717,177	6,286,911	9,048,564

※決算(見込)額は再掲分含む

<b>目標指標等</b> ■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」 ■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	
	1	被災した病院, 有床診療所の復旧箇所数(箇所)[累計]	0箇所 (0%) (平成22年度)	110箇所 (100%) (平成25年度)	107箇所 (97.3%) (平成25年度)	B 97.3%	110箇所 (100%) (平成25年度)
	2	災害拠点病院の耐震化完了数(箇所)[累計]	12箇所 (80%) (平成22年度)	15箇所 (100%) (平成25年度)	13箇所 (86.6%) (平成25年度)	C 33.3%	15箇所 (100%) (平成25年度)
	3	県の施策による地域医療連携システムへの接続施設数(施設)[累計]	0施設 (平成22年度)	77施設 (平成25年度)	85施設 (平成25年度)	A 110.4%	77施設 (平成25年度)

平成25年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	47.4%	25.2%	III

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上  
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満  
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）		概ね順調
<b>評価の理由</b>		
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ目の指標「被災した病院、有床診療所の復旧箇所数」については、全壊あるいは一部損壊として災害復旧補助金の活用が申し出があった施設（病院・有床診療所）を母数としているが、申し出のあった施設が再開を断念したことにより、対象施設数は108施設となった。なお、平成25年度中に再開した医療機関は無かったが、沿岸被災市町各地域のまちづくり計画が進み、建設事業に着手を開始した1病院を除く、107医療機関が復旧再開を果たしており、当面の医療機能は確保できている状況にある。</li> <li>・二つ目の指標「災害拠点病院の耐震化完了数」では、県内の災害拠点病院は従前から耐震化を進めていたが、3病院が完了に至らない状況で被災したが、平成24年度に耐震化工事に着手した1病院が平成25年度に完了したものであり、残りの2病院についても予算化を行うなど着実に進捗している。</li> <li>・三つ目の指標「県の施策による地域医療連携システムへの接続施設数」は、ネットワークシステムの整備に時間を要したものの、平成25年7月に沿岸部の石巻、気仙沼圏域において運用が開始され、目標を上回る85施設が接続している。今後、平成26年度に仙台圏域が運用を開始する予定である。</li> </ul>	
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この施策について平成25年県民意識調査結果では、高重視群が81.7%と比較的高い一方で、満足群が47.4%と半数を下回っており、沿岸部と内陸部の割合にはほとんど差が無く、全県的にこの施策「安心できる地域医療の確保」の取組の加速が求められていると言える。</li> <li>・満足群・不満群の割合による区分は「Ⅲ」に該当する。</li> </ul>	
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年3月1日現在における被災地域の医療機関の再開状況は石巻地域で89.4%、気仙沼地域で73.2%であるが、今後再開を目指す医療機関の施設・設備の復旧に向けた支援が必要であることから、第2期地域医療再生計画、地域医療復興計画及び第2期地域医療復興計画を策定し、関連する諸事業を実施している。</li> <li>・一方仮設住宅や民間賃貸に入居している被災住民は、平成26年3月現在で約8.6万人となっており、長期に渡り居住地を離れた避難生活の中でさまざまな課題に直面しており、被災者が県内どこに住んでいても必要な保健福祉サービスの提供が求められている。</li> </ul>	
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「①被災者の健康支援」では、健康支援事業では、健康相談等に要する経費を10市町に補助したほか、食生活支援事業及び被災者特別検診等事業など全ての事業で成果が出ており、順調に推移していると考えられる。</li> <li>・「②ハード・ソフト両面の医療提供体制の整備」では、医療施設災害復旧事業が着実に進んでおり、被災地における当面の医療機能は確保されている。また、他県からの支援受入に係る経費等を助成する医師等医療系人材確保・養成事業など、実施したほとんどの事業で成果があり、概ね順調に推移していると考えられる。</li> <li>・「③保健・医療・福祉連携の推進」では、ICT（情報通信技術）を活用した医療連携構築事業において、平成25年7月に、石巻圏域、気仙沼圏域で運用が開始され、接続施設数が目標を上回るなど順調に推移していると考えられる。</li> </ul>	

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

<b>施策を推進する上での課題と対応方針（原案）</b>	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的医療機関と地域医療の両輪となる民間の病院や診療所の再開・継続には、地域全体の復興が不可欠であるが、各地域の本格的な復興にはまだ時間を要するものと考えられ、この間の医療・福祉の提供体制の在り方の検討が必要である。例えば在宅医療の推進など復興途上の地域の実情にあった地域医療の提供・確保を考える必要がある。</li> <li>・こうした地域の不利な面を補完していく上でも、ICTによる医療福祉情報ネットワークの全圏域での運用の実現が急がれるところである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の拠点となる病院の復旧・復興に向けた調整を着実に推進し、安心して医療の受けられる体制を各地域において整備する。</li> <li>・民間賃貸住宅に居住する被災者の健康調査結果をはじめ被災者の健康状況や支援ニーズの把握につとめ、市町の保健活動を県として支援していく。</li> <li>・仙台圏域及び大崎・栗原圏域などにおいて医療情報ネットワークシステムの整備を進め、県内全域において、医療資源の不足を医療機関の相互協力、東北大学との連携等によりカバーできる状況を整備する。</li> </ul>

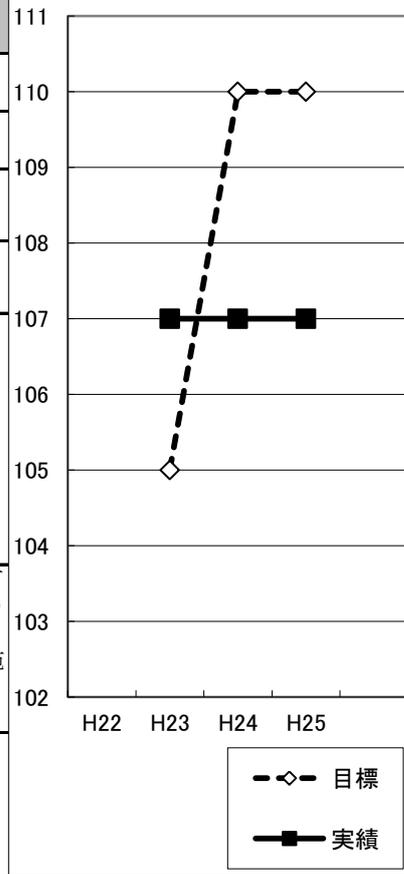
評価対象年度 平成25年度

政策 2 施策 1

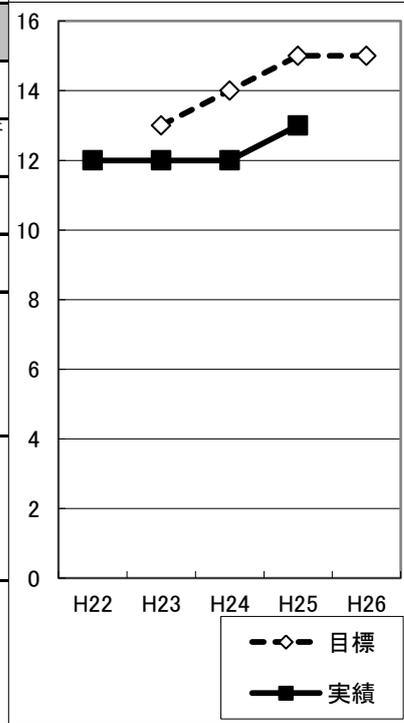
**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
1	被災した病院,有床診療所の復旧箇所数(箇所) [累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
	目標値	-	105箇所 (95.5%)	110箇所 (98.2%)	110箇所 (100%)	-	
	実績値	0箇所 (0%)	107箇所 (98.2%)	107箇所 (97.3%)	107箇所 (97.3%)	-	
	達成率	-	101.9%	97.3%	97.3%	-	
目標値の設定根拠	・医療供給体制の整備に関しては,復旧・復興の進捗状況の指標として,被災した病院及び有床診療所の復旧率を目標指標として設定する。 ・被災施設数は,全壊あるいは一部損壊として災害復旧補助金の活用が申し出された施設数としている。 ・目標年度である平成25年度までの復旧期において,被災した大規模病院の本格復旧には時間を要することから,震災前の水準への到達は困難となることが予想されるが,これまで開設された仮設診療所や仮設の病院・病棟の充実等により,相当程度,震災前の水準に近づくと想定している。						
実績値の分析	・医療施設のうち開設者である医師が被災により死亡または被災地外へ転居してしまった医療機関を除き,被災した医療施設は仮設や近隣への移転及び建物の修理を行い震災後1年までに9割近く復旧再開を果たしている。 残りは中核病院等大規模な施設が残っていたが,平成25年度中において,1施設から再開断念の申し出があり,対象施設数は108施設となった。						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
2	災害拠点病院の耐震化完了数(箇所)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	H26
	目標値	-	13箇所 (86.7%)	14箇所 (93.3%)	15箇所 (100%)	15箇所 (100%)	
	実績値	12箇所 (80.0%)	12箇所 (80.0%)	12箇所 (80.0%)	13箇所 (86.7%)	-	
	達成率	-	0.0%	0.0%	33.3%	-	
目標値の設定根拠	・県内における災害拠点病院の耐震化は,3病院を残し完了した。このため,平成25年までに,これらの3か所の病院の耐震化を目標として設定することとした。						
実績値の分析	・宮城県沖地震に備え,県内の災害拠点病院は耐震化が進んできたが,3病院については,完了に至らない状況で被災し,平成23年度中は,復旧対応に終始したため,大きな進捗は見られなかった。平成25年度にはこのうち1病院の耐震化を完了した。						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



評価対象年度 平成25年度

政策 2 施策 1

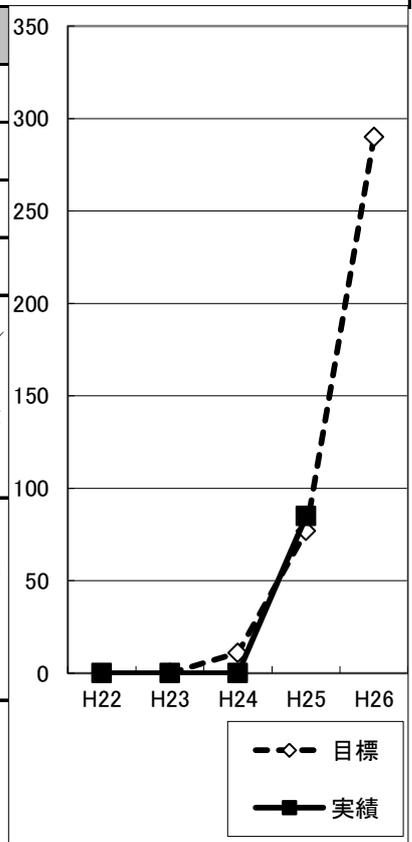
**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	県の施策による地域医療連携システムへの接続施設数(施設)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	H26
	目標値	-	0	11	77	290	
	実績値	0	0	0	85	-	
	達成率	-	-	0.0%	110.4%	-	

目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興計画に盛り込まれた保健・医療・福祉連携の推進を図るため、震災復興推進事業の一つとして取り組まれるICTを活用した医療連携構築事業について、システムに接続する医療機関数を目標指標として設定する。</li> <li>今回の連携システムは、病院内システムを持つ中核病院間をつなぐものであり、先行地域で実績のあるシステムを活用することなどから、当初の展開予定の地域毎に中核病院と関連病院・施設10施設ずつを当面接続することを目標としている。</li> </ul>
実績値の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災対応を契機に医療施設間の情報ネットワークによる診療データの共有やバックアップの必要性の認識が高まったことを受け、情報ネットワークの整備に向けた動きが始まっており、平成23年度にはシステム運営の母体となる組織が設立され、ネットワークシステムの整備と医療施設の接続を進めている。平成25年7月に本格運用を開始した石巻・気仙沼圏域で参加医療機関を増やしており、平成26年度には仙台圏域での運用開始を予定していることから、参加施設の一層の拡大を見込む。</li> </ul>
全国平均値や近隣他県等との比較	-



評価対象年度 平成25年度

政策 2 施策 1

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	51.4%	84.7%	47.1%	81.7%		
		やや重要		33.3%		34.6%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	5.7%	6.5%	5.8%	6.7%		
		重要ではない		0.8%		0.9%			
		分からない		8.9%		11.6%			
		調査回答者数		1,927		2,044			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.6%	50.5%	8.2%	47.4%		
		やや満足		41.9%		39.2%			
		やや不満	不満群 の割合	17.9%	24.2%	19.3%	25.2%		
		不 満		6.3%		5.9%			
		分からない		25.3%		27.5%			
		調査回答者数		1,906		2,009			
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	50.6%	84.3%	47.8%	82.5%		
		やや重要		33.7%		34.7%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	6.5%	7.3%	4.7%	5.7%		
		重要ではない		0.8%		1.0%			
		分からない		8.5%		11.8%			
		調査回答者数		781		822			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	9.0%	50.8%	9.1%	49.3%		
		やや満足		41.8%		40.2%			
		やや不満	不満群 の割合	17.8%	24.1%	19.0%	24.9%		
		不 満		6.3%		5.9%			
		分からない		25.1%		25.8%			
		調査回答者数		777		814			
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	51.6%	84.8%	46.3%	81.3%		
		やや重要		33.2%		35.0%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	5.1%	6.0%	6.5%	7.3%		
		重要ではない		0.9%		0.8%			
		分からない		9.2%		11.4%			
		調査回答者数		1,139		1,187			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.3%	50.3%	7.6%	46.3%		
		やや満足		42.0%		38.7%			
		やや不満	不満群 の割合	18.0%	24.2%	19.2%	25.1%		
		不 満		6.2%		5.9%			
		分からない		25.5%		28.6%			
		調査回答者数		1,122		1,165			

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成25年度
--------	--------

政策	2	施策	1
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成25年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		事業概要		平成25年度の実施状況・成果							
		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)							
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
1	① 01	被災者健康支援 会議事業	1,654	事業概要 県及び市町村が実施する被災者健康支援施策を企画・実施・評価するに当たり、保健・医療・福祉等の専門家を招へいし、助言を求める。				平成25年度の実施状況・成果 ・本庁における開催(会議, 2回) ・各地域における開催(講義, 19回, 参加者983人)			
		保健福祉部 保健福祉総務課		ビジョン 関連: 取組20	妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	1,394
2	① 02	健康支援事業	99,206	事業概要 避難所、応急仮設住宅、在宅等の被災住民に対して、健康状態の悪化を防止するとともに健康不安の解消を図るため、看護職員による健康相談、訪問指導等を支援する。				平成25年度の実施状況・成果 ・民間賃貸住宅に入居している避難者の健康状態を把握するための調査を健診団体に委託実施し、調査結果を市町村に提供した。 ・保健師等による仮設住宅集会所等での健康相談や家庭訪問等を行う被災者支援に要する経費を10市町に補助した。(「まちの保健室」を含む。) ・市町村と共同で応急仮設住宅入居者の健康調査を実施し、健康状態に合わせて支援を行った。 【調査対象】 プレハブ仮設住宅 9市町 15,106世帯 民間賃貸借上住宅 35市町村 18,357世帯			
		保健福祉部 健康推進課 医療整備課		1①① 再掲 ビジョン 関連: 取組20	妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	46,545	106,098
3	① 03	食生活支援事業	13,768	事業概要 応急仮設住宅の入居者等に対し、食生活の悪化を予防し、栄養改善を図るため、栄養士等による栄養改善等の支援を行う。				平成25年度の実施状況・成果 ・栄養相談会の開催(377回) ・戸別訪問による指導の実施(1,671戸)			
		保健福祉部 健康推進課		ビジョン 関連: 取組20	妥当	成果があった	効率的	維持	-	8,165	16,692
4	① 04	歯科口腔保健支援事業	4,408	事業概要 応急仮設住宅等の入居者に対して、口腔の健康状態を改善し、誤嚥性肺炎等を予防するため、歯科医師、歯科衛生士による歯科口腔保健指導等を実施する。				平成25年度の実施状況・成果 ・4市4町74か所の集会所等において、歯科口腔保健の指導・相談を実施し、健康状態の改善を図ることができた。			
		保健福祉部 健康推進課		ビジョン 関連: 取組20	妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	5,858	6,670

5	① 05	リハビリテーション支援事業	38,480	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				生活不活発病や障害の予防、住環境の改善、福祉用具の調整等を行うため、リハビリテーション専門職等による相談・指導を支援する。また、被災者が健康づくり事業を実施するためのリーダー等の養成を支援する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団運動指導 798日</li> <li>・リハビリテーション相談会 329日</li> <li>・戸別訪問 505日</li> <li>・市町の承認を受けた法人等に対して、リハビリテーション専門職の人員費ほか事業費の補助を実施した。</li> <li>・被災市町の実施する健康づくり事業や介護予防事業との連携を図りつつ、継続的な実施が求められている。</li> </ul>			
緊急	保健福祉部 障害福祉課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	25,559	44,916	38,480	
6	① 06	仮設住宅等感染症予防指導事業	4,021	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				感染症予防に関する普及啓発のため、サポートセンター、福祉施設等の職員への専門家による研修会の開催や普及啓発用具の作成・配布を行う。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症セミナーの開催(8回)</li> <li>・普及啓発チラシ作成、配布</li> <li>・感染症予防啓発物品の作成、配布</li> </ul>			
6	保健福祉部 疾病・感染症対策室	ビジョン 関連：取組20	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	廃止	-	-	3,539	4,021	
7	① 07	被災者特別健診等事業	128,744	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				特定健診・保健指導の対象になっていない18歳以上39歳以下の県民が、自らの健康状態を把握することができるように、市町村が実施する基本健康診査等の経費について補助する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸部の15市町において事業を実施し、被災地住民の健康状態の把握及び悪化防止に努めた。</li> </ul>			
7	保健福祉部 健康推進課	ビジョン 関連：取組20	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	-	187,536	128,744	
8	① 08	特定健康診査等追加健診支援事業	61,538	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				震災後の生活の変化に伴う県民の健康状態悪化を早期に発見するために、市町村が実施する腎機能検査等の追加健診の経費について補助する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・33市町村においてクレアチニン検査等を実施し、その経費について支援した。</li> </ul>			
8	保健福祉部 国保医療課	ビジョン 関連：取組20	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	64,849	61,538	
9	① 09	児童福祉施設等給食安全・安心対策事業	690	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				児童福祉施設等で提供される給食における放射性物質の有無について把握するため、給食一食について事後検査を実施する。また、市町村が実施する検査委託経費に対し補助する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査実施(補助対象)施設</li> <li>・県有施設 3施設</li> <li>・市町村施設(私立含む) 13施設</li> </ul>			
9	保健福祉部 子育て支援課	ビジョン 関連：取組13	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			概ね妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	-	999	690	

10	緊急	② 02	薬局整備事業	-	事業概要 震災により甚大な被害を受けた被災地における地域医療の復興のため、仮設住宅近辺における医療機関の整備に合わせて薬局の整備を支援する。また、地域の復興計画に沿って、各地域に拠点薬局の整備を支援し、適切な医薬品の供給体制を図る。	平成25年度の実施状況・成果 ・実施主体となる県薬剤師会における計画等の確認調整実施					
		保健福祉部 薬務課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性			年度別決算（見込）額（千円） H22 H23 H24 H25				
				妥当	ある程度 成果が あった	-	拡充	-	20,000	-	-
11	緊急	② 03	医療施設等災害 復旧支援事業	3,469,748	事業概要 被災した医療提供機能の早期回復と施設等の復旧を図るため、施設開設者に対して復旧等費用を補助する。	平成25年度の実施状況・成果 ・平成23年度及び平成24年度に地域医療再生事業（緊急医療機能回復分）補助金を受給した医療機関で、なお多額の自己負担額を抱える医療機関に追加支援等を行った。（239件）					
		保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性			年度別決算（見込）額（千円） H22 H23 H24 H25				
				妥当	成果が あった	効率的	維持	-	1,549,700	38,310	3,469,748
12	緊急	② 04	医療施設災害復 旧事業	217,916	事業概要 被災した医療機関等の復旧費用を補助する。	平成25年度の実施状況・成果 ・長町病院に対して、医療施設近代化施設整備事業を活用して補助を行った。					
		保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性			年度別決算（見込）額（千円） H22 H23 H24 H25				
				妥当	成果が あった	効率的	維持	-	13,930	56,988	217,916
13	緊急	② 05	医療施設耐震化 事業	810,790	事業概要 災害時の医療体制を確保するため、災害拠点病院等の耐震化（耐震性を欠く既存施設の建て替え・補強）の費用を補助する。	平成25年度の実施状況・成果 ・災害拠点病院である大崎市民病院及び精神二次救急医療機関である青葉病院に対して建て替えに係る費用を補助を行った。					
		保健福祉部 医療整備課	7①④ 再掲 ビジョン 取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性			年度別決算（見込）額（千円） H22 H23 H24 H25				
				妥当	成果が あった	効率的	維持	-	1,796,343	1,372,633	810,790
14	緊急	② 06	災害時医療情報 網整備事業	11,124	事業概要 震災でMCA無線端末機が失われた医療機関に対する再配備と、これまで無線のエリア外であったために端末機が配備されていなかった医療機関に対する配備に係る費用の一部を補助する。	平成25年度の実施状況・成果 ・支所を含む保健所9か所にMCA無線端末機を整備した。					
		保健福祉部 医療整備課	7①④ 再掲 ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性			年度別決算（見込）額（千円） H22 H23 H24 H25				
				妥当	ある程度 成果が あった	概ね効率的	維持	-	-	-	11,124

15	緊急	② 07	大規模災害時医療救護体制整備事業	2,418	事業概要 大規模災害に備えるため、救命救急センター等における自家発電設備の強化、DMATの養成と政府総合防災訓練への参加支援等を行う。	平成25年度の実施状況・成果 ・政府総合防災訓練やDMAT参集訓練に参加しDMATとの連携や大規模災害時医療救護活動マニュアルの実効性を検証した。また、各種災害対策研修に参加し、災害に対する知識と意識を高めた。					
		保健福祉部 医療整備課	7①④ 再掲	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	維持	-	571	1,033	2,418				
16	緊急	② 08	救急医療情報センター運営事業	84,480	事業概要 大規模災害時に各医療機関が診療の継続に必要とする物資や人的支援について速やかに把握し、その支援体制を確保するため、その情報システムを整備する。	平成25年度の実施状況・成果 ・参加医療施設数:135施設(H26.3.31現在) ・うち病院は121施設。県内142病院(H26.3.31現在)に占める加入率:85.2%					
		保健福祉部 医療整備課	7①④に再掲	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			ビジョン 関連:取組19	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	83,415	84,293	84,480				
17	緊急	② 09	精神障害者救急医療体制整備事業	87,900	事業概要 震災に伴いPTSD等の精神疾患の発症者の増加や精神状態の悪化等が懸念されることから、従前の精神科救急医療体制の充実強化を図り、緊急に精神科医療を必要とする県民に対して、精神症状や身体合併症に応じた適切な医療を提供する。	平成25年度の実施状況・成果 ・通年夜間は1病院が対応し、休日昼間は25病院の輪番制により2病院ずつ対応を行った。 ・平成26年2月からは精神科救急医療体制を拡充し、精神科救急情報センターに医療相談窓口を設置するとともに、土曜日昼間診療体制を新たに確保した。					
		保健福祉部 障害福祉課	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	-	80,673	78,997	87,900				
18	緊急	② 11	宮城県ドクターバンク事業	1,411	事業概要 医師不足及び地域・診療科による偏在に対応し、地域医療を担う市町村立及び一部事務組合の自治体病院・診療所に勤務する医師を確保する。	平成25年度の実施状況・成果 ・修学資金等貸付制度の広報媒体(チラシ)を作成し、全国の医科系大学等へ配布を行った。 ・貸付者の募集を行い、応募のあった28人に対して貸付決定を行った。 ・これまでに修学資金制度を利用した医師28人について、県内自治体病院等への勤務指定を行った。					
		保健福祉部 医療整備課	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
妥当	成果があった	効率的	維持	-	1,585	7,202	1,411				
19	緊急	② 12	看護師確保緊急対策事業	69,358	事業概要 看護師の確保が困難な沿岸部の被災地に看護師等の新卒者を誘導するため、修学資金の創設や教育環境整備を行い看護職員の確実な確保を図る。	平成25年度の実施状況・成果 ・沿岸部への就業を償還免除の要件とした修学資金を121人が活用している。 ・沿岸部医療機関と看護学校との交流を支援した。 ・沿岸部医療機関の新人教育体制強化や人材確保を支援した。					
		保健福祉部 医療整備課	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	-	69,358				

20	② 13	気仙沼地域医療施設復興事業	275,351	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				地域医療復興計画に基づく気仙沼地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・気仙沼市立病院の移転新築に係る補助を行った。 ・公立志津川病院及び南三陸町志津川保健センターの新築に係る補助を行った。			
20	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	138,300	275,351	
21	② 14	石巻地域医療施設復興事業	406,013	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				地域医療復興計画に基づく石巻地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・石巻市立病院の新築に係る補助を行った。 ・石巻港湾病院の移転新築に係る補助を行った。			
21	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	17,702	406,013	
22	② 15	仙台地域医療施設復興事業	648,994	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				地域医療復興計画に基づく仙台地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・仙台市立病院の移転新築に係る補助を行った。 ・東北大学病院及び坂総合病院、名取市休日夜間急患センターの建て替えに係る補助を行った。 ・眼科医療支援車両の運営に係る補助を行った。			
22	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	572,268	648,994	
23	② 16	人材確保・養成事業	865,569	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				地域医療復興計画に基づき医療人材確保に向けた各種対策を実施する。				・全壊自治体病院の円滑な診療再開が図られるよう、石巻市立病院、公立志津川病院の医療従事者流出防止の支援を行った。 ・医療機関（石巻夜間急患センター）の県外からの医師派遣受入に対する助成を行った。			
23	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	-	1,654,996	865,569	
24	③ 02	ICT(情報通信技術)を活用した医療連携構築事業	1,744,983	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				医療従事者の不足が懸念される中、切れ目のない医療の提供体制を推進するため、ICTを活用した地域医療連携システムを構築することにより、病院、診療所、福祉施設、在宅介護事業者等の連携強化・情報共有を図り、子どもから高齢者までだれもが、県内どこでも安心して医療が受けられる体制を構築する。				・平成25年7月から、石巻・気仙沼圏域におけるネットワークシステムが運用開始となった。 ・また、平成25年度には、仙台圏域におけるネットワークシステムを構築した。			
24	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連：取組19	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	-	6,452	1,239,900	1,744,983	
決算（見込）額計		9,048,564									
決算（見込）額計（再掲分除き）		8,125,026									